

市議会議員
かけのまち子
電話/Fax 53-7727
kakenom@xj.commufa.jp



市議会議員
みわ 陽子
電話/Fax 54-6712
yokko0520mi@yahoo.co.jp



NO. 499 2021.12.9
日本共産党江南市委員会

あすの江南

前市議 森ケイ子 電話/Fax 57-2753
前市議 東よしき 電話/Fax 54-7977

* 困り事は早めにお気軽にご相談ください

日本共産党江南市議員団 HP



検索

12月議会
一般質問

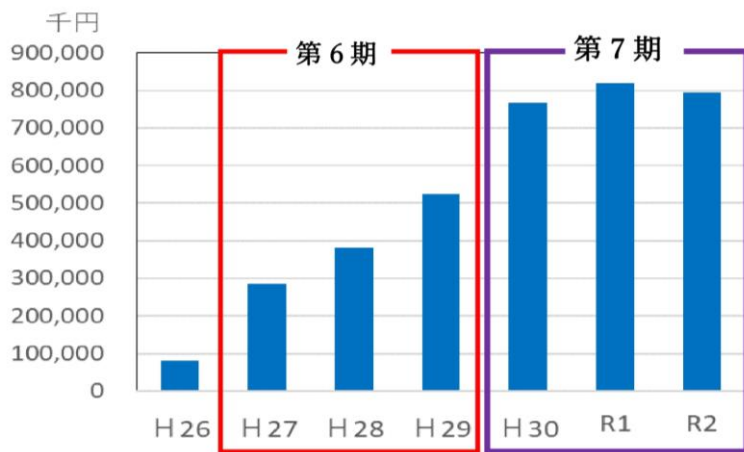
他質問は次号に掲載

介護保険料を引き下げよ かけのまち子議員 法にもとづかない基金ため込みはダメ

介護保険料は制度開始時の基本月額2,579円から現在(8期)は5,349円と、2倍以上に高くなっています。

一方6期以降、制度が急激に改悪され、利用の抑制や自己負担増があいつぎました。これが原因で、介護事業基金が増え続け7期末で約8億円にも達しています(下グラフ)。本来、高齢者に還付するべき余剰の(取りすぎた)介護保険料を還付せず基金にため込み、次期以降にまで持ち越しているからです。

こんな財政運営は、「3年ごとにリセットする」中期財政運営を定めた介護保険法に反しています。8期の途中でも全額崩し、介護保険料を引き下げるべきと主張しました。



市当局は今の運用に法的根拠があるかどうか明確にせず、「市が決めること」と勝手な解釈。後期高齢者人口の増加による介護保険料の急激な上昇を抑制するため基金の全額を8期に取り崩すのは困難だが、9期計画時には全額取り崩しも含め協議すると答弁。保険料の際限のない上昇を止めるには、何といたっても国による負担を増やすしかありません。

子どもの国保税、独自に軽減を

来年度から、未就学児の国保税均等割が国の制度によって2分の1に軽減されます。しかし小中高校生にこそ軽減が必要です。一般会計からの繰り入れで市独自に上乘せし、18歳以下の均等割を半額にするよう求めました。「子どもの均等割軽減の拡大は、全国市長会も求めているが、市独自では厳しい」との答弁でした。

また国保税は2年前に約9%値上げしたばかりで、負担は限界に達しています。コロナ禍で深刻な被害を受けた加入者に追い打ちをかける来年度の国保税引き上げを止めるよう求めました。

しかし「県から示された納付金の額が大幅に増加した。来年度の国保税引き上げについては慎重に検討する。国県に財政支援を要望していくが、今後も2年ごとに値上げを検討する」との驚くべき答弁でした。

福祉タクシーを使いやすい

みわ 陽子議員



市では障がい者の一部と85歳以上の希望者にタクシー基本料金(600円)を助成する券を年間48枚配っていますが、使用率は20%台と大変低くなっています。利用者からは、基本料金で走れる距離が短くなったこともあり、基本料金だけの補助では、不足分の支払いが心配で利用しづらいとの声が多く聞かれます。

基本料金で走れる1,178mを具体的に示しながら、「600円48枚分を500円券40枚と200円券44枚にして1回の乗車に枚数制限なしで使えるようにしては」と提案しました。

市は、なぜ使用率が低いのかをこれまで検証していません。使われない理由をはっきりさせるなどの実態調査を来年のタクシー券配布時に行い、調査結果を踏まえ今後必要な検討をするとの答弁でした。

学童保育の安全と充実を

来年度から通年利用の学童保育が5、6年生まで対象が拡大されるのに合わせて4、5、6年生の保護者の勤務終了時間の要件が見直され午後4時半となりました。見直しにむけたアンケートでは「4年生の保護者の勤務終了時間が現在の

午後3時から4時に変更された場合、学童保育が利用できますか」との問いに「4時になったら預けられない」と答えた方があったにもかかわらず、5、6年生と一緒に午後4時半にした理由の説明を求めました。

また、週1回は3時で下校する学校が多いこと。学童保育の対象を5、6年生までに広げて、4年生が利用できなくなったら本末転倒であること。通勤時間も含めて4時半までとの説明であったが、広報こうなん等にそれが記載されていないこと。学童利用料金が低学年と高学年で同額であることなどを示し、「保護者の勤務終了時間の要件を高学年も3時に戻すべきである」と迫りました。

「4、5、6年生は授業時数が同じで、学校を出る時間がおおよそ4時なので、4年生で学童保育が利用できない児童があっても留守番するのは短時間で影響が少ない」「定員に合わせ、真に保育が必要な方が利用できるようにするための見直しである」との保護者の現実に配慮のない答弁でした。